

山田学区

# 社協だより

第 49 号

発行  
山田学区  
社会福祉協議会



## ご挨拶

会長 中島 四郎

山田学区の皆さまには、日頃より学区社会福祉協議会の諸活動に多大のご理解とご支援を賜り、誠にありがとうございます。この一年も多くの皆さまのお力添えを得ながら無事に終えることが出来ましたことを、紙面をお借りして厚くお礼申しあげます。

さて、事業の一環であります、恒例のお一人暮らしの日帰りバス旅行を十一月二十九日に開催いたしました。「この日を楽しみにしていました!!」明るく、はなやいだ皆さんの思い一杯にして、朝九時三十分山田公民館を出発いたしました。

途中で休けいを取りながら、十一時すぎ、「名阪健康ランド」に到着いたしました。少しの間、思い思いに過ごしていただき、大広間でお料理に舌鼓を打ちました。その後、いろいろな薬湯風呂を楽しみ、専属劇団による踊りとお芝居で身も心も洗われたようでした。

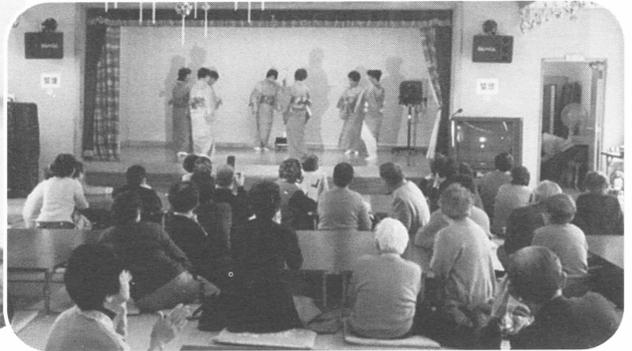
「また来年もお願いしますね!」元気に家路につかれる皆さんの後姿にうれしい気持ちで一杯でした。

山田学区の人口は約8,600人で、高齢化率は十九、五%と市内で最も高い地域で、今後、お一人暮らし、老夫婦世帯の方も増えつつあると思います。

いまこそみんなでささえあう、あたたかい地域づくりをさらに築いていかなければなりません

今後とも山田学区の福祉活動へのご支援、ご指導を心よりお願い申し上げます。

# 高齢者ふれあいサロンの開催



山田学区社会福祉協議会では、学区全域を対象にした高齢者ふれあいサロンの開催と東部、南部、北部に分割したブロックごとの高齢者ふれあいサロンの開催を実施しています。社会的孤立のないまちづくりで大切なことは、「私たちはお互いが支えあって生きていくこと」を知り、「住民一人ひとりが地域のかげがえのない一員である」と認め合うことではないでしょうか。

そのためには、まずは地域での地道な啓発活動が大切です。そして、人と地域がつながる場づくりや居場所づくりの活動は、地域と自分との関係を考える機会となり、自分の生き方を大切にするのと同じように、他人の生き方も大切



にする気持ちを住民同士で育むことにつながります。こういった居場所は、そこに出向いた人たちが出会い、共に一定の時間を過ごす中から交流が生まれ、本人にとってホッと一息つけるような居心地のよい場所、つまり、気軽に人々が集い、談笑し、ひと時を過ごすなど家と地域をつなぐ「縁側」のような場であるといえます。

社会的孤立のないまちづくりをすすめるためには、孤立せず、つながることのできる地域の場や居場所を地域全体で創っていく取り組みが必要だと思えます。

最後になりましたが、十八年度ご支援をいただきました、日赤奉仕団・なごみの会・五三〇の会・健康推進委員会の皆様に心よりお礼申し上げます。



平成18年度 社会福祉協議会

賛助会員紹介

平成十八年度の草津市社会福祉協議会賛助会員は、市内の企業・事業所・商店・個人各位、六六一社(名)よりご協力をいただきました。

この会費は草津市および山田学区の社会福祉協議会が主催する各種の催し物に有効に使わせていただきます。

ここに、山田学区内でご加入いただきました会員の皆様に厚くお礼申しあげ、ご紹介させていただきます。

(敬称略・順不同)

- (有)久泉豊店
- いた清
- (株)アヤシロ
- 杉江工業所
- (株)ナカイテクノ
- (有)横江製作所
- (有)田渕鋳金
- 横江鋳金塗装株
- 相撲ちゃんこ 大岳

- 榎光真製作所
- (株)中島歯車工業
- 平井運輸(有)
- 藤田工務店(株)
- 平井酒店
- 福盛教材
- 浜口自転車店
- 北山田診療所
- あげぼの食堂
- 焼肉 夕鶴
- 一品料理 悦ちゃん
- きよ香
- オートカム
- お好み焼き 田渕
- 中野製菓(株)
- 西濃運輸(株)
- 駒井工務店
- こまい酒店
- 園田工業(株)
- 園田瓦店
- 杉江酒店
- 広川電機(株)
- (株)久泉エンジニアリング
- (有)馬場自動車

- 久泉 進
- (有)馬場工務店
- 堀井歯科医院
- (株)テクノオーミ
- 膳所木材工業(株)
- (株)ポーンフリー
- 山一産業(株)
- 久保水道
- 西本電気工業(株)
- 久保産業(株)
- (有)馬場建設
- コーナン商事(株) 草津店
- 田中 春行
- 髪結 愛
- 魚八給食(株)
- (株)尾賀亀 湖南草津
- (有)久保電気
- 平井自動車工業(株)
- 佐山水道工業(株)
- 中川商店



ありがとうございます。

福祉講座

共催…山田公民館、山田学区社会福祉協議会  
研修先…滋賀県障がい者福祉センターを訪ねて

〇七年二月八日、私たち二十八名の一行は「障がい者とかかわり」についてのお話しと福祉施設の見学及び障がい者スポーツの体験を目的に「県立障がい者福祉センター」を訪ねました。

まず、視覚障がい者の方たちが日頃親しんでおられる「サウンド、テーブル、テニス」の手ほどきを受け最後にはアイマスクをつけて、障がい者の方たちと同じ条件での体験をし、その後、私たちが「障がい者」とどのようにかかわっていくべきか、また、どのような点に気をつけるべきかのお話しを聞きました。

私たちは、日頃何気なく過ごしておりますが、「障がい」があることが如何に大変なことであるかを実感するとともに、今後そのような機会に接した時には可能な範囲で学ん



# ボランティア交流会の開催

山田学区ボランティア連絡協議会 藤井 清忠

平成十九年三月二十日、山田学区ボランティア連絡協議会の交流会を開催いたしました。これはボランティアグループ(四グループ)の相互の親睦をはかると共に、今後の活動についても話し合う機会になればと開催したもので

## 福祉委員研修会

平成十八年度山田学区社会福祉協議会福祉委員の研修会が三月十五日、五条会館にて開催されました。

誰もが安心して住みつけられる健康福祉社会の実現はみんなの願いであり、その実現のために、福祉委員は、地域福祉活動の担い手としての専門知識や見識を高めていただき、ボランティア活動全般の推進役として活動していた

まず、それぞれのグループの活動報告があり、「山田たんぼぼ」(発表者・佐々木幸代さん)では、「第一びわこ学園」での奉仕活動の報告があり、楽しさや苦しさいろいろありますが、一生懸命させていた、だくことが「心の預金」につながると発表されました。

だくための研修です。これからも、山田学区での福祉活動の中核として、ますます期待されます。



た。

つぎに「山田五三〇の会」(発表者・馬場綱信さん)からは、主に地域の美化清掃や、公民館前の花壇の花の植えかえと除草などの活動をされています。空かんやベツトボトル、それにビニール袋などの「ポイ捨て」が目立ち、地域住民一人ひとりの意識を高め、「きれいな町山田」を目ざしていかなければならないと心熱く報告をされました。

「なごみの会」(発表者・中島清さん)では自然の中にある薬草を採集し、薬湯として利用できると、

各々の薬草の効能を学習し、洗浄や乾燥などの作業の方法や配布の様子などを報告されました。

最後に「ともしび」(発表者・藤田せつ子さん)からの報告では二十五年という永き



にわたり、活動を続けてこられ、特別養護老人ホーム「やわらぎ縁苑」への奉仕活動を中心にされております。言いたいことを言い合

ながら、心はいつも一つに強く結ばれて、元気で活動させていた、だけることに喜びを感じながら命ある限り頑張りたいとのべられました。



すべての活動のあと、全体会に移り、今後の課題と共に、ボランティア活動をより充実したものにするには、どうすればよいかの意見交換が活発に行われました。

午後には参加者全員で(約八十名)で、「ほのぼの体操」で身体をほぐし、横江武彦さん(山田五三〇の

会)の素人ばなれした手品とビンゴゲームでひとときを過ぎ、交流会を閉じることができました。

役員皆さまには大変お世話になり、心よりお礼申しあげますと共に、各ボランティアグループの横のつながりをより深め、地域のニーズに添えていきたいと思えます。そして、さらに地域福祉推進のため、皆さまと力をあわせて、「福祉の街づくり」の一助となるよう、今後も活動を続けていきたいと思っております。

## 編集後記

年を重ねただけで、

人は老いない

理想を失った時、

初めて老いる

「青春とは」の詩の一節に出会いました。また、青春とは人生のある期間ではなく、心の持ち方をいう……。

何だか、大変感銘を受け、何かをさせていただけること感謝し、毎日を大切にしていきたいと思えます。